

藤里町まちづくり ミーティング2022

～身近なことから、町の未来まで～

A カワウに関して、秋田県で対策組織を立ち上げておりますが、市町村への依頼等はいまのところありません。今後の動きを注視しております。

Q 粕毛地区のみならず、多くの民有林が伐採されているが、植林は行われているものか。

A 国からは再造林を推進するよう指示されており、町有林は伐採及び再造林を計画的に実施しています。民有林に関しては、森林組合もしくは林業マイスター、町農林課へご相談いただき、国の補助金を活用するなどして森林の確保にご協力いただければと思います。

【中通地区・7名】

Q 大雨が降ると荷上場地区高架下が通行止めになることが多い。何とかならないか。

A 秋田県への要望を引き続き行っております。

Q ナラ枯れ病の町の状況とその対策は。

A 素波里方面で1本を処理済、谷地の奥山に4、5本あるという報告を受けています。国、県の補助制度はまとまった本数のみの適用で、町が負担するとすると、1本処分するために25〜26

万円程かかります。引き続き情報を収集いたします。

Q 一の渡地区の治山堰堤だが、年数が経過して堰堤に土砂が堆積しており、大雨の際には役割をはたしていない。

A 治山堰堤の場合は、既存の堰堤の機能が低下した場合、下流部に新たに設置するという方法を行っています。後ほど現場を確認し、秋田県の担当部局へ情報を提供いたします。

Q 坊中・一の渡の間を横断するヒューム管は、川が増水すると逆流し、一の渡地区の低い場所に流入してくる。

A 水害の調査時にそういった箇所は確認できませんでしたので、後ほど現場を調査いたします。

Q 藤琴川の護岸が削られている箇所が見受けられる。

A 秋田県に確認を依頼します。

Q 町内のコロナ患者の状況を把握しているか。

A 個人の情報が保健所から提供されることはありません。

Q 田中地区の犬保護の件について、一部の野犬化、建物が不衛生、廃車が数台放置されているなど、地域住民の生活環境や観光面からも引き続き注視する必要があると思われるが。

A 随時、能代・北秋田保健所が現場パトロールを行っております。建物等行政が一方的に処分を行うことはできませんので、関係機関に相談しながら対策を講じることができるよう進めてまいります。

Q 町民が適切な治療を受けることができるよう、院外薬局の設置を要望する。

A 町内での医療の確保に向けた検討を現在も行っており、例えば遠隔医療など様々なアプローチの方法について、視察や情報収集を続けており、並行して検討すべき事案と考えております。

Q 桜つつみ公園の樹木の手入れが行き届いていない。

